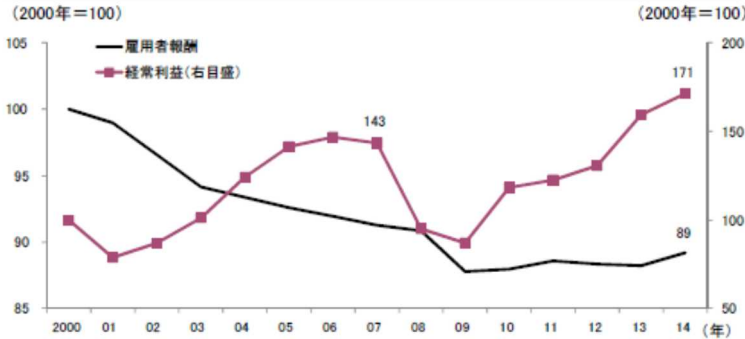


平成 29 年 6 月 28 日

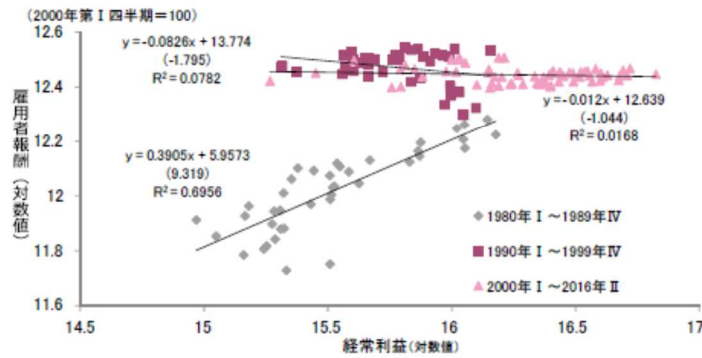
第 2-7 図 経常利益・雇用者報酬の推移

- 長期的にみて、雇用者一人当たりの経常利益は増加傾向にあり、雇用者報酬は減少傾向にある。
- 2009 年以降、経常利益は増加している一方で、雇用者報酬は横ばいで推移している。



第 2-8 図 経常利益と雇用者報酬の関係

- 経常利益と雇用者報酬の関係を長期的にみると、1980 年代では経常利益の増加に応じて雇用者報酬が増加する傾向があったが、1990 年代以降は経常利益が増加する一方で雇用者報酬は伸び悩んでいる。



第 2-9 図 内部留保・労働分配率の推移

- 内部留保は継続的に増加している一方で、労働分配率は減少傾向で推移している。
- 経常利益の増加も踏まえ、利益を雇用者に適切に分配していくことが重要。

